

令和7年度 第3回貝塚市地域公共交通活性化協議会議事録（要約版）

日 時	令和8年2月20日（金） 10時00分～
場 所	貝塚市役所3階 公房会議室
出 席 者	委員16人
会 議 次 第	1. 開会 2. 案件 報告1 貝塚市デマンド交通実証運行結果について 報告2 貝塚市定時定路線バス実証運行結果について 報告3 は～もに～ばすを一日フリー乗車券の対象とすることについて 3. その他 4. 閉会

（1）開会

事 務 局：（出席者数および会議成立の報告）

（2）案件

報告1 貝塚市デマンド交通実証運行結果について

事 務 局：実証運行の目標値は利用者総数を5,182人、1日当たり14.6人と設定していたが、実際の利用者総数は2,815人、1日当たり8.0人であり目標値をクリアできなかった。ただ、8月以降の利用者数は右肩上がりとなっている。

登録者数と利用頻度を見ると、登録者数は、585名（男子27.1%、女性72.9%）であったが、利用率は約36%でうち、1,2回の利用者が約20%を占めていた。

予約手段は、電話が52.9%で、Web予約が47.1%だった。また、利用年代別では、60才台～80才台の利用者が全体の76.6%を占めていた。利用時間帯は午前中の利用が60%と最多で、予約時期は当日予約が27.9%と最も多かった。

実証運行中に実施した利用者アンケートでは、デマンド交通サービスを家族や友人に勧めたいと答えた方が大半で、高評価を得ている。

委 員F：確認したいことが3点ある。

1点目は、登録者の利用頻度の中で、登録したにもかかわらず利用していない方が約64%となっているが、利用しなかった理由を教えてください。

2点目は、よく利用する方がどれぐらいいるのか。また、幅広く使われているかどうかを検証しているのであれば参考に教えてください。

最後に、今回実証運行したことで、水間鉄道の利用客数に好影響があったのか、相乗効果が得られたのかまた、バスだけでなく公共交通全体にどういう風に影響があったのか教えてください。

事 務 局：1点目は事務局が地元に出向いて事前登録を呼びかけたことに加えて、地域の代表の方が「今はデマンド交通を利用する予定がなくても登録しておけば使う時に便利だ」とアナウンスしてくれたため登録された方が多かったのだと思う。

2点目のよく利用する方については、100回以上利用された方が4名いらっしゃった。全体では1～2回の利用者が約20%である。一度デマンド交通を利用すると同じ方が複数回使う傾向にあるようだ。3点目の実証運行が水間鉄道に与えた影響については、水間観音駅から森駅までの各駅の利用人数を見ると、デマンドの実証運行を行なうことによって、利用人数が減となっているが、水間鉄道全体の利用人数も減っていることから水間鉄道に対して大きな影響はなかったと思われる。

委員E：実証運行期間中に6ヶ所の乗降ポイントを追加したことによる影響があったのか教えてもらいたい。また、利用者アンケートの実施方法を教えてもらいたい。

事務局：水間公園に1か所、水間荘園2か所、公園墓地3か所と3エリアに対して6か所乗降ポイントを追加した。公園墓地では若干名の利用はあったが、他の2エリアに関して利用はなかった。2つ目の利用者アンケートの実施方法は、デマンド車内やインターネットや説明会を通じてアンケート用紙を配布し、駅やデマンド車内等で用紙を回収した。

議長：補足すると、8月に地元から声があったので、水間公園、水間荘園に追加したが、実際には利用が無かったということで、要望の声と実際のニーズに乖離があったケースだと思っている。

委員R：データを見ると、利用者数が増加傾向にあり、結構良い方向に進んでいたと見ているが、実証運行ということで、今後どうするのか事務局の考えを知りたい。

事務局：実証運行が終了後、アンケート調査を実施しているので、その結果をもって地元に出向き、地域の話をかかせてもらった上で、事業者とも相談しながら進めていきたいと考えている。

委員R：登録したが利用しなかった人へのアプローチをしっかりと考えていただきたい。

議長：ほかに意見・質問がないので先に進めさせていただく。

報告2 貝塚市定時定路線バス実証運行結果について

事務局：実証運行ルートは、JR東貝塚駅～水間鉄道石才駅を結ぶルートをAルート、JR東貝塚駅～水間鉄道石才駅～貝塚市役所～南海貝塚駅～市立貝塚病院を結ぶルートをBルートに設定した。（朝の時間帯におけるAルートは当初5便だったが、9月から運行ルートの一部を変更し7便とした。）

目標値は、Aルートの利用者総人数を7,997人、Bルートを21,701人に設定したが、Aルート利用者の総人数が407人、Bルートが3,983人で目標をクリアできなかったが、Aルートは、運行ルートを変更した9月から利用者数に伸びがみられた。

議長：意見・質問がないので次の報告3に移らせていただく。

議案3 は～もに～ばすを一日フリー乗車券の対象にすることについて

事務局：現在、水間鉄道㈱が発行している1日フリー乗車券の対象は水間鉄道とコスモスライナーであり、販売価格は1,060円である。この1日フリー乗車券に新たには～もに～ばすを追加して1日フリー乗車券とすることを計画している。販売価格については、協議運賃部会で決議を取る予定である。

委員K：現行のフリー乗車券の利用状況を知りたい。

事務局：利用している人はあまりいないと聞いている。水間鉄道と浜手に行くバスのフリー乗車券なので、なかなか使いづらいと思われるが、これには～もに～ばすを加えることによって利用促進につながることを期待している。

議長：市議会等でも乗り継ぎ割引とかそういった意見がある。は～もに～ばすと水間鉄道を連絡することで両者の需要が少しでも伸びることを期待している。これまで利用が無かったのはPR不足なので、本市の方でもPRに努めフリー乗車券の利用が伸びるようにしたい。

委員E：このフリー乗車券のサンプルルートやモデルルートみたいなものを何パターンか作成するのか。

事務局：今後、そのように考えていきたい。

議長：他に意見・質問がないようなので報告3については終了する。

以上をもって本日の案件について終了した。実証運行の件については、今、事務局の方でアンケート調査を実施しているので、地域の方々の意見などを把握、分析し、来年度になるがこの協議会の中で議論しながら進める必要があると思うので引く続き協力願いたい。

(3) その他

事務局：これまでグーグルマップで、は～もに～ばすを検索できなかったが、検索できるようになったのでご利用願いたい。

(4) 閉会